

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 541

事務事業名	三城城跡保存整備事業(曲輪Ⅱ)	
基本目標	010301	人を育むまち
政策		文化の振興と生涯学習の充実
施策		文化財の保護・活用・継承
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	文化振興課		
課長名	三ヶ島恵利子	内線	375
担当者名	松川憲毅	内線	372

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業コード	200000	三城城跡保存整備事業

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	三城城跡曲輪Ⅱ(先行取得地及び周辺)		
意図 対象をどのような状態にしたいか	戦国時代に大村氏の居城であった三城城の跡地は、歴史のまち大村にとって重要な史跡であり、その保存を図り、将来的に歴史教育や観光資源として活用する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	三城城跡の国指定化を目指すとともに、開発公社で先行買収した曲輪Ⅱを城跡の保存整備の核に位置づける。		
事業期間	平成 16 年度	～	平成 年度
実施方法	直営		

成果指標名				算定式等	
着手前現状値	平成 16 年度	単位	㎡	18,000	
完了後計画値	平成 41 年度				

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							56,654
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
実施設計	実績・計画額							
	項目別進捗率							
用地・補償	実績・計画額							600,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
建設工事	実績・計画額							97,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
事務費等	実績・計画額	4,113	240	240	322	328	328	7,708
	項目別進捗率	53.36%	56.47%	59.59%	63.76%	68.02%	72.28%	76.53%
合計	実績・計画額	4,113	240	240	322	328	328	76,132
	項目別進捗率	5.40%	5.72%	6.03%	6.46%	6.89%	7.32%	7.75%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画	
① 事業費(千円)	240	240	240	322	328	328	328	0	
国庫支出金									
県支出金									
地方債									
その他									
一般財源	240	240	240	322	328	328	328		
② 人件費(千円)	477	237	2,120	2,011	事業内容	事業内容	事業内容	B/C	
職員人数(人)	0.06	0.03	0.30	0.26	先行買収地の維持管理	先行買収地の維持管理	先行買収地の維持管理		
時間外勤務(時間)		5	2	60					
嘱託等人数(人)									
フルコスト(①+②千円)	717	477	2,360	2,333					

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	先行取得地の除草等環境保全については、これまでと同様に地元町内会に委託し、貴重な文化財として適切な環境を維持している。
事業が抱える問題・課題等	文化庁、県教育委員会など関係機関との調整を図っているが、地権者からの指定同意取得は難航している。指定化のスケジュールが遅れていることから、民間への土地の売却等を希望する地権者が出てきている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市の歴史を代表する大村純忠の居城跡を後世に伝えるための事業であり、重点的に取り組む必要がある。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	周辺地域の開発が進んでおり、三城城跡の民有地も開発により文化財が失われる危険にさらされており、保護措置の緊急性が高い。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	戦国大名の居城としての文化財的価値に加え、本市の特色あるキリシタンの歴史において重要な史跡であり、整備活用することで、地域のシンボルとして、教育・観光に役立てることができる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	先行買収地の管理を地元町内会に委託しており、最低限のコストで維持している。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	先行買収地は適切な環境保全ができており、現状を維持したい。 指定同意取得及び指定予定地の土地については、引き続き関係機関及び所有者、占有者と調整を図っていきたい。 庁内会議等を設け、指定後の整備や活用についての方向性を決定する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。